

# を問う



全国共進会 候補牛



影山 辰雄

## 安易な町民負担増はダメ

### 八%の歳出削減目標

**影山** 平成十七年度決算につき、監査委員から示唆に富んだ指摘がなされているが、この指摘事項をどのように分析され新年度予算にいかさるのか。  
**町長** 監査委員から財政

状況の悪化により「このままでは、伯耆町を維持することが非常に難しい」と云う言葉で代表される、さまざまな指摘を受けている。新年度予算においては財源不足額一億五千

万円、率にして八%の削減が必要であり英知を出し予算編成作業を行っている。

**影山** 特別会計繰出金が増え、特別会計をいじれば町民の負担増加となってくる。安易な町民への負担転嫁はダメ。その前に不要不急なものを省いて一万二千町民の身の丈にあった予算にすべきと思うが。

**町長** 当面は利用料の値上げは考えていないが、今までのような行政サービスを維持するには協働という新しい仕組みへの転換に町民の理解と協力を求めたい。

#### 第九回和牛全共対策

**影山** 第九回和牛全共が来月十月十一日から鳥取県で開催され本町にも候補牛が複数あるが、この対策は。

**町長** 本町では候補牛が十八頭おり、本番に向け飼育管理に努力されております。

伯耆町としても町内から全国共進会に鳥取県の代表牛として、多数出場し優秀な成績を取ることが、畜産振興につながる。候補牛の支援につきまして畜産農家や農協とも連携をとりながら、支援策を講じたい。

#### 農産物の生産振興対策

**影山** 農産物の生産振興対策として平成十七年度

決算で執行率にして五十%以下であった。これは水田転作と云う足かせがあったためだ。平成十九年度から米政策も大きく様変わりし、いや応なしに小規模農家切捨ての時代に入っていく。もう少し農家に使い勝手の良い方策は検討できないか。

**町長** 本事業は農家の所得減収の補填、農地の保全、農業の推進を図ることを目的に、JA鳥取西部と合同で実施したが、結果としてご指摘のとおり低い執行率だった。今後は周知を図り推進をしていきたい。ただ、本事業の内容については、その必要性や産地づくり交付金などの整合性を考慮し、今後見直しを図る必要があると考えている。

# 町政



中田 壽國

## 公共施設の管理、運営は

### 意見を聞いて考える

**中田** 十九年度予算編成にあたり、さらなる経常経費削減のため、行財政改革の推進と効率的な行政運営が求められている。

全ての公共施設の管理、運営、在り方等について意見、アンケートを求めるところについて伺う。

**町長** 各施設の見直しについては、指定管理者制度への対応や統合など、あらゆる方面の方々の意見を聞きながら考えていく。

**中田** 美術館、総合スポーツ公園にそれぞれ職員が三名配置されているが、今後も継続されるのか。

**町長** 美術館について、指定管理者制度を導入する予定で準備を進めており、削減の方向で検討している。

総合スポーツ公園につ

いて、来年度計画の予定の「施設のあり方、運営方針の検討」の結果を踏まえ検討したい。

**中田** 指定管理者の指定に対し、議会で否決された「おにっ子ランド及び鬼ミュージアム」及び「有線テレビジョンセンター」について、十九年四月からの対応はどうするか。

**町長** 議会の意見も踏まえ、あり方、運営方法を政策企画会議で検討をしている。

**中田** 既に指定管理者に指定した施設は三ヶ年以上の長期に亘る期

間

間、債務負担行為により委託料を支払うことになっている。各施設を選定するにあたり、短期間で審議し、また、選定委員会の選定者、方法等も不十分と考える。見直す考えはあるのか。



植田正治写真美術館

**町長** 平成二十二年三月までの長期契約としたのは、指定管理者制度導入に伴う民間のノウハウを活かした施設運営の効率化、住民サービスの向上などの効果を期待し三年間とした。

平成十八年九月が指定管理者制度導入の経過措置期限であり、かなり窮屈な日程で処理した。今後は十分な日程を確保していきたい。選定委員会の委員及び選定基準は全員協議会で説明する。

### 国道、県道の 自歩道の整備

**中田** 交通弱者に対する交通安全施設として自転車、及び歩行者を守る自歩道の整備が必要である。国道一八一号立岩上

細見間の自歩道の整備の進捗状況は。

**町長** 今年度用地買収と一部工事にかかる。平成二十年度に完了予定である。

**中田** 県道日野溝口線畑池～福岡間の整備計画については。

**町長** 毎年県に事業要望しているが事業実施に至っていない。引き続き要望する。

**中田** 県道西伯根雨線間地内の整備計画については。

**町長** 同路線の藤屋地内で事業展開中である。引き続き計画していただくよう要望する。